

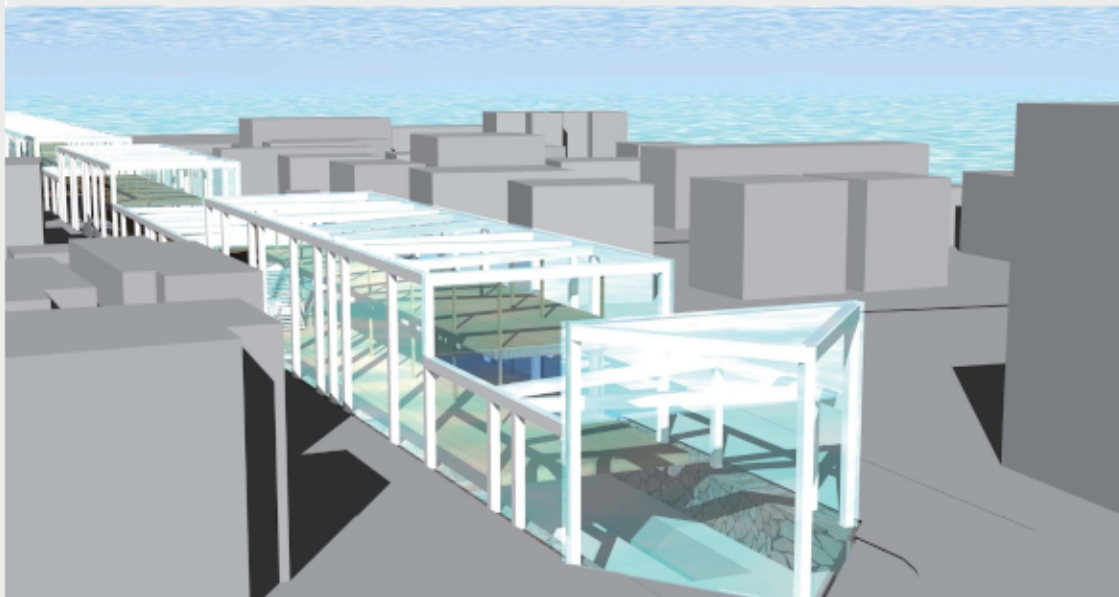
# The creek

福山大学工学部建築学科 4年

片山マリヤ

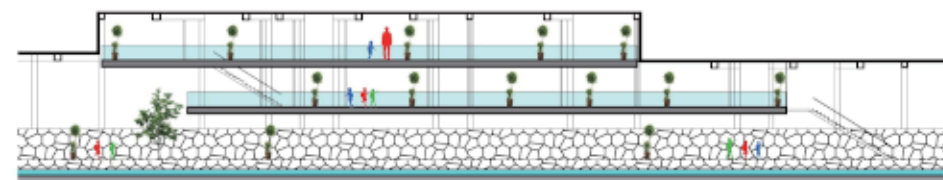
## - 新たな人間模様を創る松永クリーク活用計画 -

各断面図 (S=1/200)



A-A 断面図

B-B 断面図



C-C 断面図



### 食のエリア

料理やお菓子を作ることが出来るエリア。料理教室などをすることもでき、交流の場としても使える。そして、作ったものをクリーク内の店舗で販売することが出来る。



### 動のエリア

エリアの中で一番大きなエリアで、ダンスやヨガなど一緒に運動することで話すきっかけを作り、新たな人間関係を築くことが可能にする。



### 遊のエリア

大人が何人が常駐しており、子供を連れてくる親が他のエリアに行きたいときに子供を預けることや、子供たちが学校終わりなどに遊びに来ることが出来るエリア。子供のためのワークショップや遊具が多数あり、同じ空間で遊ぶ事で年齢問わず仲良くなれる。



### 創のエリア

アクセサリ、服、小物などを作るワークショップがあり、作り方を教える側と教えられる側、生徒同士でも年齢は関係なく交流を持つことが出来る。なお、作った作品はクリークの横穴で販売することもできる。内観は様々な形や色の机と椅子が並んでいる。



### 水のスペース

水のスペースは、子供や大人が水と触れ合うことの出来るスペースである。様々な人達が泳ぎに来るため、交流が生まれやすいと考える。クリークの横にある空間で水遊びをする子供達の親達や水で遊ばない人達が寛ぐことができる。

### まとめ

今回松永クリークに建築を計画したことにより、様々な人々による交流が可能になると考えられる。この施設を交流の拠点とすることで、松永以外にも福山や尾道から人々が集まり、顔見知り以外の人々とも関わる機会が増やせると考える。広大な敷地を利用することで、様々な人々の多様な趣味や好みに合わせた空間を一か所に集めることを可能とし、人々の交流やコミュニケーションの場を設けることが可能となる。様々な人々を集めて交流することで、新たな生き方の視点を取り入れる機会を増やし、一人でも多く豊かな生き方をできる人を増やす事が可能である。